

は、売上高の推移（単位：百万円、千ドル）

	機 械部門	化成品部門
<p>フロイント産業</p> <p>フロイント化成は食品品質保持剤の製造部門</p>	<p>改正薬事法の施行を目前に、製薬受託企業や後発医薬品企業などの活発な設備投資に支えられた。 受注高・期末受注残高は堅調推移中。</p> <p>国内製薬会社は、経営統合など再編成時代を迎えており、さらに薬価改定の影響が懸念される。</p> <p>実績3,366(03.2) 実績3,648(04.2) 予想4,200に対し実績4,833(05.2) 予想4,792(06.2)</p>	<p>栄養補助食品等</p> <p>食品品質保持剤は菓子業界の活況と相俟って注文量は高水準で推移 フロイント化成の稼働率は大幅に上昇</p> <p>2003年にシームレスミニカプセルの本格的な生産体制を整える。</p> <p>実績1,910(03.2) 実績1,878(04.2) 予想2,000に対し実績1,990(05.2) 予想2,100(06.2)</p> <p>治験薬製造受託</p> <p>自社生産している医薬品添加剤は大手製薬会社から増産要請が相次ぎ増収基調。</p> <p>V P S社への治験薬製造受託事業の仲介は、大規模な施設改修工事とともにない受託を一時見合わせ。</p> <p>実績1,565(03.2) 実績1,744(04.2) 予想1,800に対し実績1,578(05.2) 予想1,608(06.2)</p>
<p>VECTOR社</p> <p>1997年、持株会社FIL社を通じて買収 最終的な持分比率69.68%</p>	<p>近年、重要な営業戦略として位置付けている新規顧客開拓が実を結びつつあり、業績は堅調推移中。</p> <p>2002年に不振部門のCOATING MACHINERY SYSTEMS社（食品向け連続コーティング装置を製造）を売却。</p> <p>全世界を対象としたフロイント製品供給の最前線基地。</p> <p>実績18,323(2002) 実績19,160(2003) 予想23,500に対し実績24,353(2004) 予想25,000(2005)</p>	<p>フロイント産業が、自社で生産している医薬品添加剤を使用 本格生産時には、原料を販売</p> <p>予めフロイント産業の浜松研究所にて、製剤研究 研究受託ビジネスとしても事業化</p>
<p>V P S社</p> <p>VECTOR社の子会社を業態転換し、2001年にSMO（ ）として設立 最終的な持分比率79.11%</p>	<p>VECTOR社の機械装置を設置 本邦での本格生産時には、フロイント産業が生産機を販売</p>	<p>2002年半ばに、長期・大型の治験薬製造を受託し、本格的に事業として立上げ。</p> <p>国内製薬会社に加え、現地での新規顧客も開拓し、設備の稼働率を高め、早期に黒字転換を図ることが喫緊の経営課題。</p> <p>実績1,286(2002) 実績1,841(2003) 予想3,200に対し実績1,173(2004) 予想3,000(2005)</p>

・ SMO : Site Management Organization (治験施設支援機関)